



ユビキタス社会を見据えた新しいタイプの個人サポートサービス

# Voicky

ボ イ ッ キ ー

ケータイに話かける、ケータイから話しかけられる。  
リアル世界とネット世界を結ぶ、新しい対話型インターフェイス。

携帯電話がボイスレコーダーになる！

携帯電話があなたの執事になる！

**音声認識を利用したオンライン・音声入力スケジューラー**

企画背景

忙しいあなた…

# 最近、こんなことはありませんか？

忘れた？



ビジネスマン

最近、忙しくてちょっとしたことを忘れてしまう。  
お得意様との会食は明日だった？  
今日は誰とどこでミーティングだった？  
会社に行かないとスケジュールが分からない…。

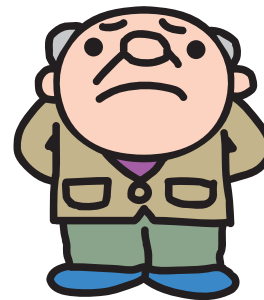
忘れた？



OL

美容院の予約って、今日の何時だろう？  
恵子が教えてくれた面白い映画ってなんだっけ？  
メモを無くしたわあ〜。

忘れた？



年配者

税金の支払日って、今日だったかなあ〜。  
孫が欲しいと言っていたのは、ゲーム機？  
それともパソコン？ メモしてれば良かった…。

解決方法は…

忘れてしまう…。人間なら当然ありえる事です。

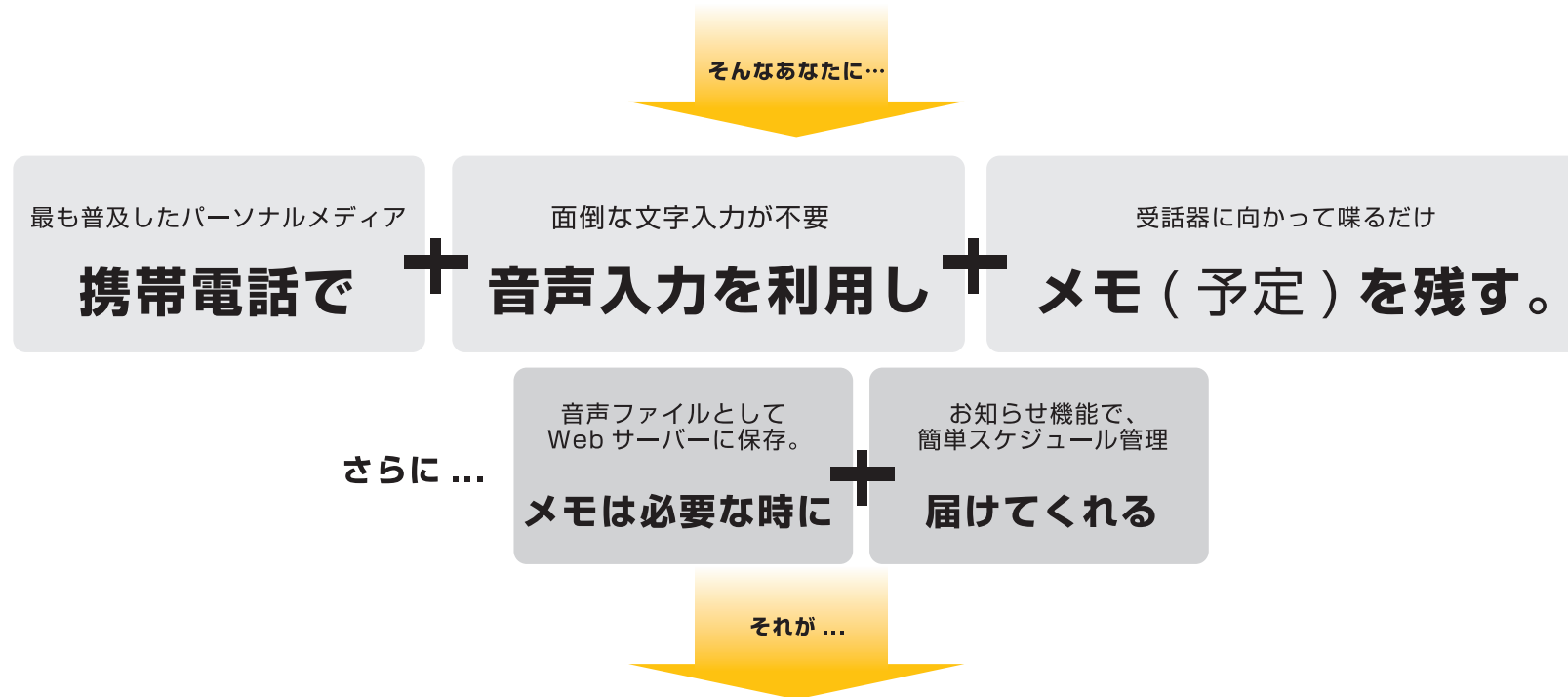
現代はいろいろな情報が溢れて、**自分に必要な情報を整理する必要性**が出てきました。  
そんな人々に対して、携帯電話を利用した**便利なサービス**を提供したいと思います。

## サービス概要

忘れないためには、メモをすることが大切！

でも、手帳にペンで書くのも、会社や自宅に帰ってから PC に入力するのでは、時間がたって忘れてしまうし…。

いつも持ち歩く携帯電話で、簡単にメモを取れないだろうか…？



オンライン・音声入力スケジューラー

**Voicky**  
ボイッキー

「従来の**ボイスレコーダーの手軽さ**」と「**オンライン**（インターネット上）で**音声ファイルを管理**することでの**メリット**」を付加した新しいタイプのオンライン・ボイスメモサービス「**Voicky（ボイッキー）**」。「音声入力」での手間を省いたインターフェイスを提供することで、ビジネスマンのみならず、若年層から年配の方まで、幅広いユーザー層の利用が期待できる新しいタイプの生活サポートサービス！

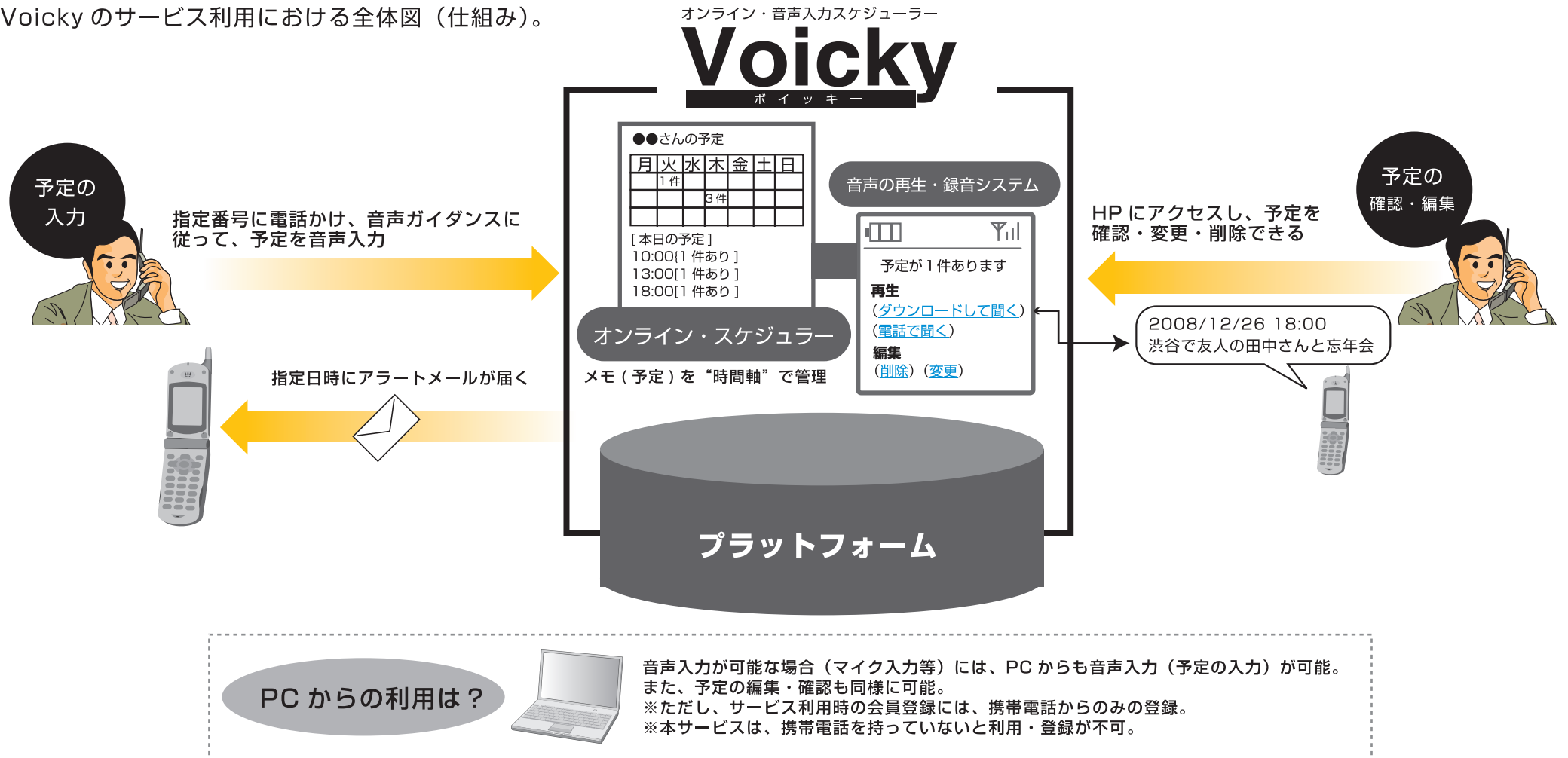
携帯電話がボイスレコーダーになる！

携帯電話があなたの執事になる！

音声認識を利用したオンライン・音声入力スケジューラー

## サービス全体図

Voicky のサービス利用における全体図（仕組み）。



※サービス開始初期の段階では、NTT コミュニケーションズ提供の V ポータルダイレクトの利用を想定。

その後、アスタリスク等でのシステム開発を検討。

## サービスの流れ

音声認識を利用した入力だから、面倒な文字入力は不要！  
ビジネスの大切な用事から、日常生活のちょっとしたメモまで利用範囲は広がる！

自分の“声”で素早く予定を入力！  
備忘録としても利用できるし、  
もう手帳やボイスレコーダーはいらないね！



予定を  
入力

### ① 指定の電話番号にダイヤルする。

### ② パスワードを喋り、ユーザー認証を行う。

オペレーター：パスワードを教えてください。  
ユーザー：145812  
オペレーター：「145812」ですね。了解しました。



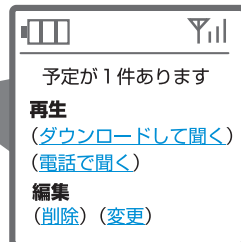
### ③ 予定の日付、用件、アラート（お知らせ）の有無とアラート配信日時を喋る。

オペレーター：ご予約の日時、ご用件、アラート設定の日時をおっしゃって下さい。  
ユーザー：2008/12/26 18:00 渋谷で友人の田中さんと忘年会 アラートは30分前に配信して下さい。  
オペレーター：用件を承りました。後ほど、入力確認メールを配信します。予定の削除・変更は、メールに指定のURLから  
御願致します。ご利用有難うございました。



当日

指定した30分前にアラート  
メールがケータイに届く



2008/12/26 18:00  
渋谷で友人の田中さんと忘年会



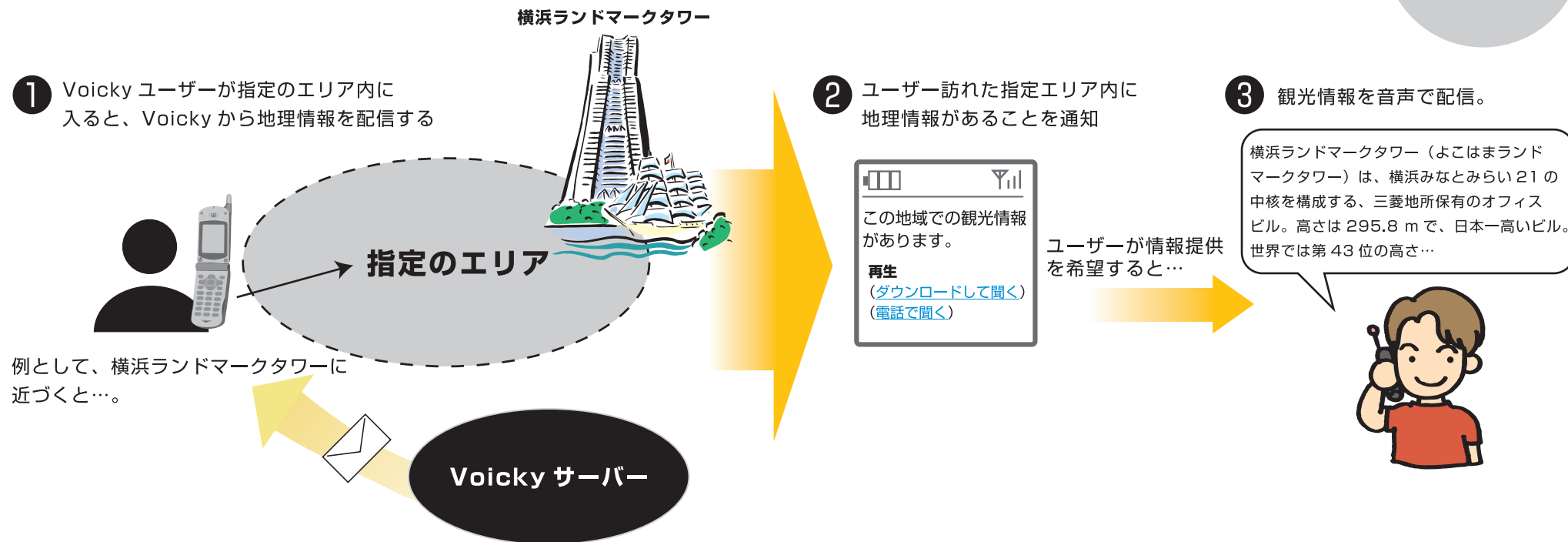
面倒な文字入力もなく簡単！  
まるで自分だけの執事がいる  
ようだ！これで大切な用事も  
忘れることはない”  
さっ、渋谷へGo！

## サービスの成長と将来性（利用例）

GPS 連動の専用アプリを開発する事で、Voicky の利用シーンは、大きく飛躍する。  
 下記は、GPS 連動を実現した場合の「**観光地・横浜**」における利用例。

活用例

### 観光情報の提供 「エリア情報案内」 (地理情報の提供・配信)



GPS 連動による音声配信の利用は、観光情報の配信以外にも、危険回避（火山活動の通知など）の分野での利用、または、音声ファイルに地理情報を付加しサーバーに残す事で、その場所に“声”を残すことができ、音声を利用した新しいタイプの UGC への展開も可能となる。

「リアルとネットの情報ハブ・サービス」 ユビキタス社会へ対応したサービス提供

「日常生活」と「ネット空間」を結ぶ“ハブ”の部分に特化したサービス提供。

現時点では、その究極の形が「Web ロボット」の開発である。その Web ロボット実現に向けた第一歩が、今企画の「Voicky (ボイッキー)」。

